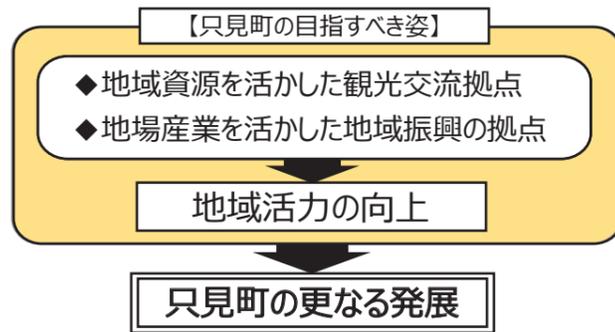


第1回 只見町道の駅検討委員会 資料

資料1	只見町「道の駅」基本構想（概要版）	1
資料2	計画策定スケジュール	3
資料3	検討委員会のスケジュール	4
資料4	計画地の現況およびアンケート結果	5
資料5	道の駅 導入機能（案）	10

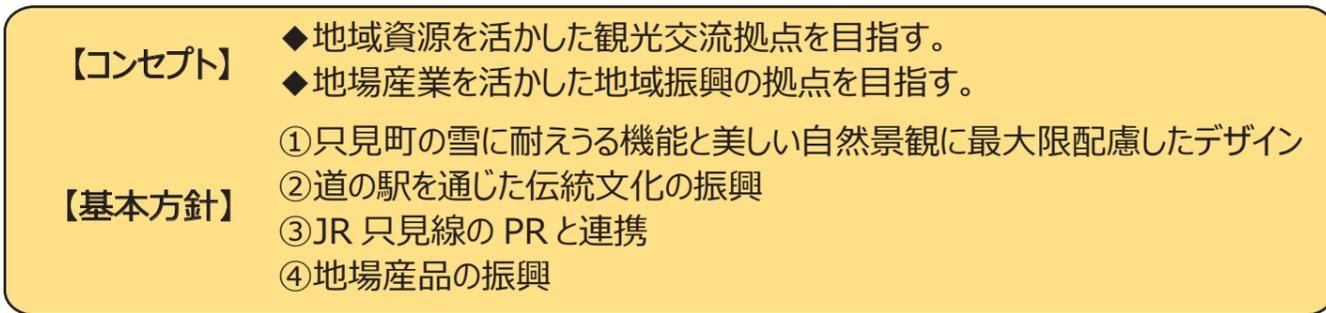
2020.07.27

1. 道の駅の整備目的



今後5年程度の間、JR只見線の復旧や国道289号線（八十里越え）の開通が見込まれるなど、本町の取り巻くインフラ環境が大きく変化しようとしている。
本町の更なる発展に向けた起爆剤とすべく地域活力の向上を図るための拠点として道の駅の早期整備が求められる。

2. 道の駅整備コンセプトの設定



3. 道の駅導入機能・施設の検討

(1) 休憩機能：快い休憩ができる道の駅

- ① 気軽に利用できる休憩施設 ◆(芝広場、授乳室、「暖」と「温」)
- ② 利用しやすい駐車場 ◆(優先駐車スペース、EV車充電スペース、雪に対応したプロムナード)
- ③ 24時間利用できる使いやすく清潔なトイレ ◆(多機能トイレ)

(2) 情報発信機能：地域の魅力、観光情報など多様な情報提供を行う道の駅

- ◆(コンシェルジュ、展示スペース、只見線PR、移住定住促進の情報提供、災害情報発信、近隣・交流都市等の道の駅との機能連携)

(3) 地域連携機能：人と人、地域と地域をつなぐ道の駅

- ① 農産物販売施設 ◆(地域に根差した直売施設、農産物PR展示)
- ② 地場産品を活用した飲食施設 ◆(「只見らしさ」、町民・町内飲食店が携わるシステム)
- ③ 気軽に利用できる多目的スペースや広場 ◆(イベントスペース、災害避難所)
- ④ その他 ◆(伝統工芸・食文化体験、雪室、フレキシブルな販売スペース、冬季間の農産物ストック、只見線とのコラボ・PR、地域のコンビニ機能)

(4) 防災機能

- ① 防災機能の導入 ◆(町・県・国の災害支援協定の締結、災害時の支援活動拠点)

(5) その他

- ① ユニバーサルデザインの導入 ◆(ゆとりスペース、他言語表記、ピクトグラム、AED)
- ② 「道の駅」の交通結節機能(地域交通拠点機能) ◆(駐車場の分離化計画、車・自転車のシェア・レンタル等)

4. 道の駅設置位置の検討

只見町の観光客の入り込みは10月の紅葉シーズンが最も多く、次いで雪まつりが開催される2月が多くなっている。その反面12月から4月の冬季間は2月を除き少ない。将来、国道289号線が開通した際には通年通行が可能となり、冬季間の車の流れが変わることが想定される。

■設置位置の検討

- A「叶津地区」…新たな交通起点
- B「只見駅前周辺」…交通・観光の要
- C「季の郷湯ら里」…宿泊・観光の要

審議会の結果



B「只見駅前周辺」に「道の駅」を設置する方針となった。
【主な理由】
①交通量が多く見込める ②観光、防災、道路等の情報発信に便利である。
③町民も利用しやすい。

5. 道の駅の管理運営方法の検討

観光開発審議会では運営主体の比較検討を行った。自治体運営や民間企業等の運営に対する課題に大きな不安や懸念が示され、指定管理者方式での第三セクターによる運営が望ましいとの意見が出た。

【管理運営者の比較】



6. 実現に向けて

(1) 主体的な住民参加の促進

- ・町民が道の駅の運営に主体的に関わることが重要である。(オーナーシップ)
- ・生産者、利用者、町民(若者、事業経営者等)の参画を求める。
- ・アンテナショップの出店や6次産業化の推進、地域ブランドづくりのための食品加工を検討する。

(2) 事業手法

- ・道路管理者との「一体整備」を目指して県と連携する。
- ・特定交通安全施設等整備事業や電源立地地域対策交付金などの各種補助事業の活用を検討する。

(3) 管理運営

- ・既存の観光・交流施設との連携による地域が一体となった運営体制の導入を検討する。

(4) その他の課題

- ・田子倉レイクビュー、歳時記念館の運営について統廃合などの検討が必要である。
- ・只見線や二次交通機関との連携(トイレの相互利用、時間調整や待合スペースの利用)について検討する。
- ・ゲートウェイ型(例:外国人観光客の受け入れ)を検討する。
- ・地域センター型(例:地域産品の創出、公共サービスの提供)を検討する。

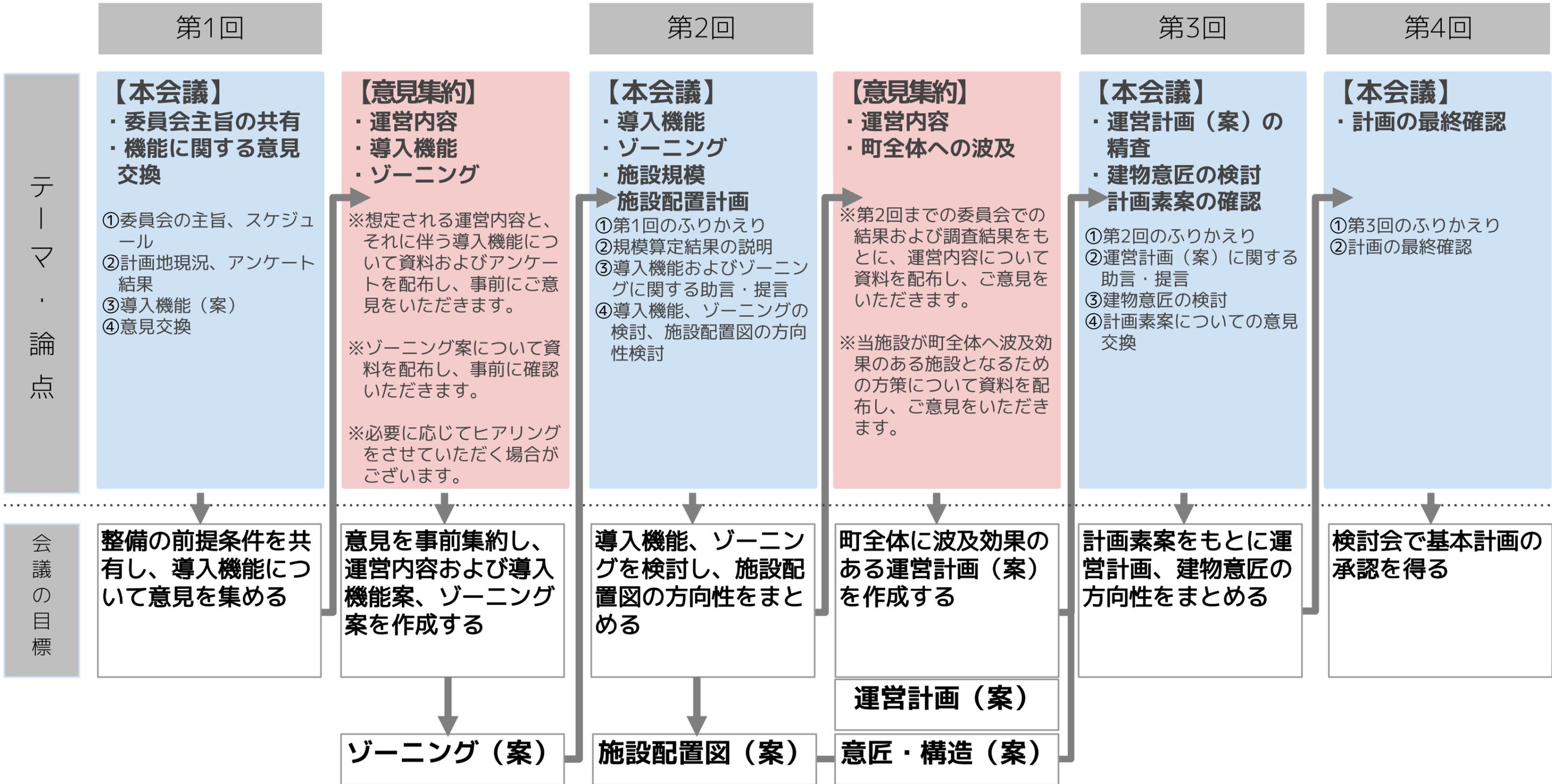
只見町「道の駅」事業スケジュール(案)

事業スケジュール	平成30年度 (2018)				令和元年度 (2019)				令和2年度 (2020)				令和3年度 (2021)				令和4年度 (2022)				令和5年度 (2023)			
基本構想策定	■	■	■	■	■																			
基本計画の策定					■	■	■	■																
基本設計の策定 ・基本設計、測量調査等									■	■	■	■												
整備計画の策定 ・実施設計													■	■	■	■								
管理運営計画の策定 ・事業主体の決定、設計協議					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■								
用地買収									■	■	■	■	■	■	■	■								
法令に基づく調査・許可申請等									■	■	■	■	■	■	■	■								
県との協議					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
工事																	■	■	■	■	■	■	■	■

※基本構想時点のスケジュールであり実際と一部異なる



検討委員会のスケジュール





6 只見駅



7 只見用水



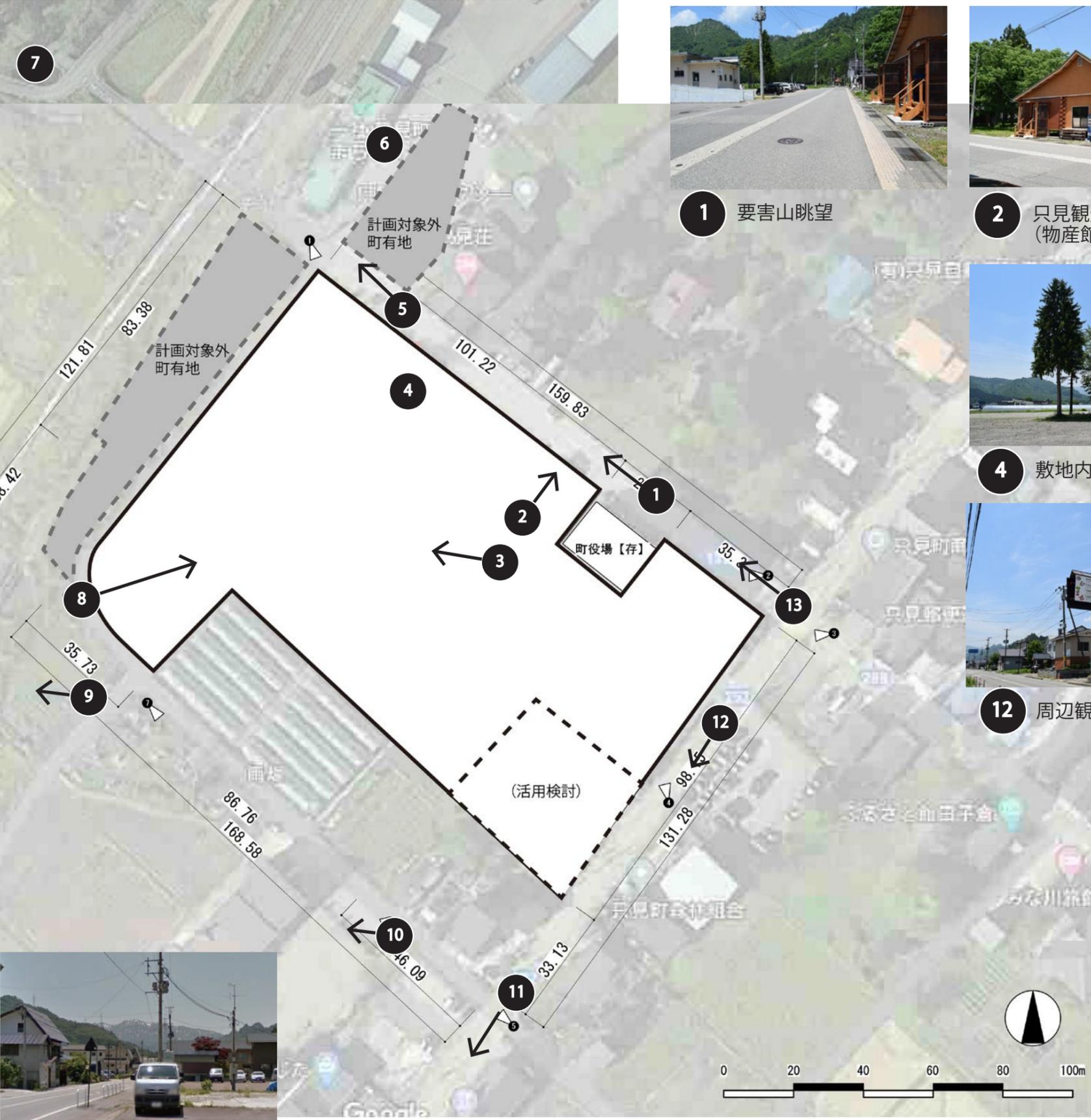
8 柴倉山眺望



9 電車 転車台



10 只見保育所



1 要害山眺望



2 只見観光まちづくり協会 (物産館)



3 只見スキー場眺望



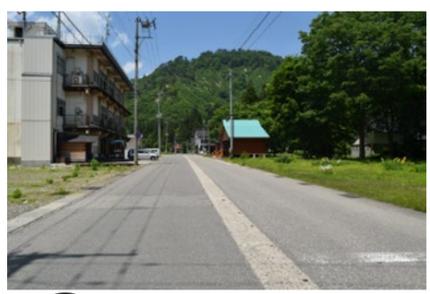
4 敷地内の樹木



5 踏切と神社と要害山



12 周辺観光案内看板 (10)



13 町役場・只見観光まちづくり協会



ビルや3F建て以上の建物がないため、非常に眺望がよい。役場の屋上からは360度のパノラマを望める。田子倉ダム、只見線の俯瞰、只見町を囲む山々、只見川など。→道の駅に展望台を設けることで、自然首都・只見をイメージできる場となりえる。



11 横山眺望

只見道の駅 周辺の状況



0m 100 200
S:1:5000

- 凡例
- 公共施設
 - 民間施設
 - 公園・緑地
 - 資源

3. アンケート調査結果

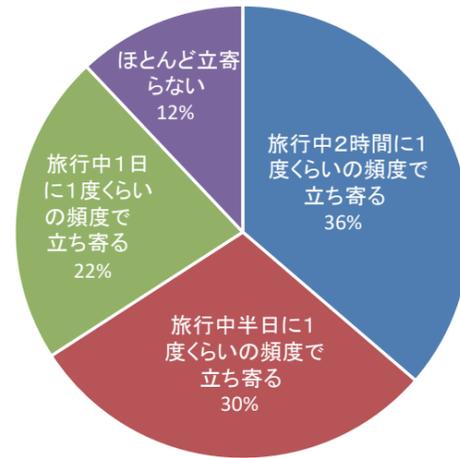
(1) 一般利用者向けアンケート

■対象者：福島県、新潟県、栃木県に在住の1年以内に自動車旅行をしたことがある人

■回答者数：600名（各県200名）

1) 普段、旅行に行く際に道の駅にはどのくらいの頻度で立ち寄りますか？(Q4)

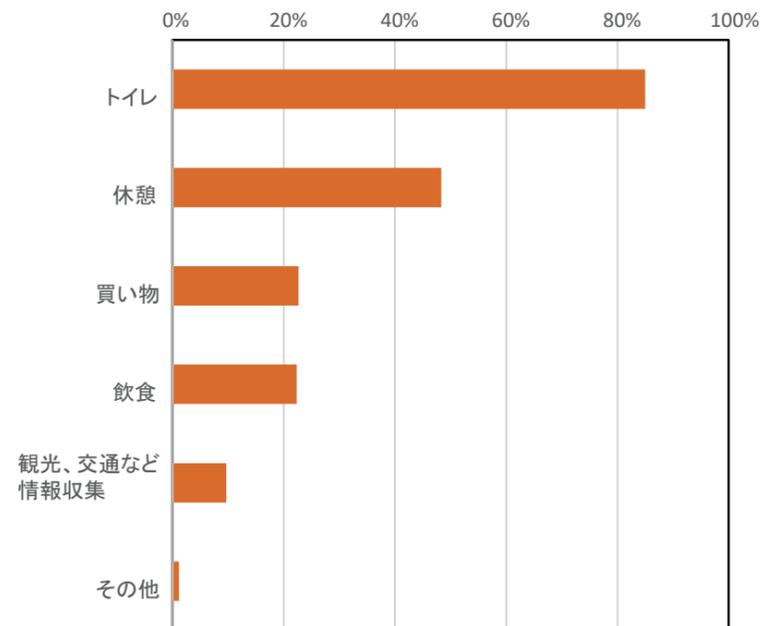
道の駅にはどのくらいの頻度で立ち寄りますか？



- ・旅行の際に、道の駅に立ち寄る人は全体の約90%。
- ・立ち寄る頻度は、2時間に1度が最も多く約40%、次いで半日に1度が30%、1日に1度が約20%となる。

2) 道の駅には、どのような目的で立ち寄りますか？(Q5)

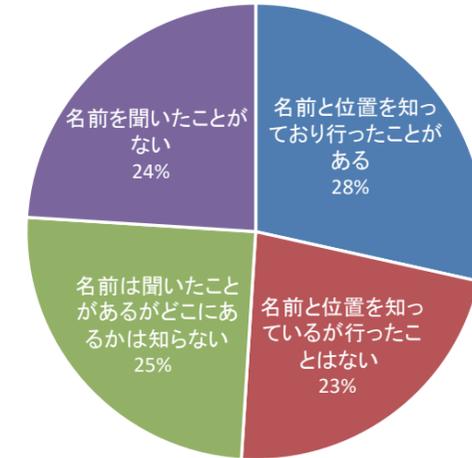
道の駅には、どのような目的で立ち寄りますか？



- ・トイレが85%、休憩が約50%、買い物・飲食がそれぞれ約20%、情報収集は約10%。

3) 福島県南会津郡只見町のことを知っていますか？(Q10)

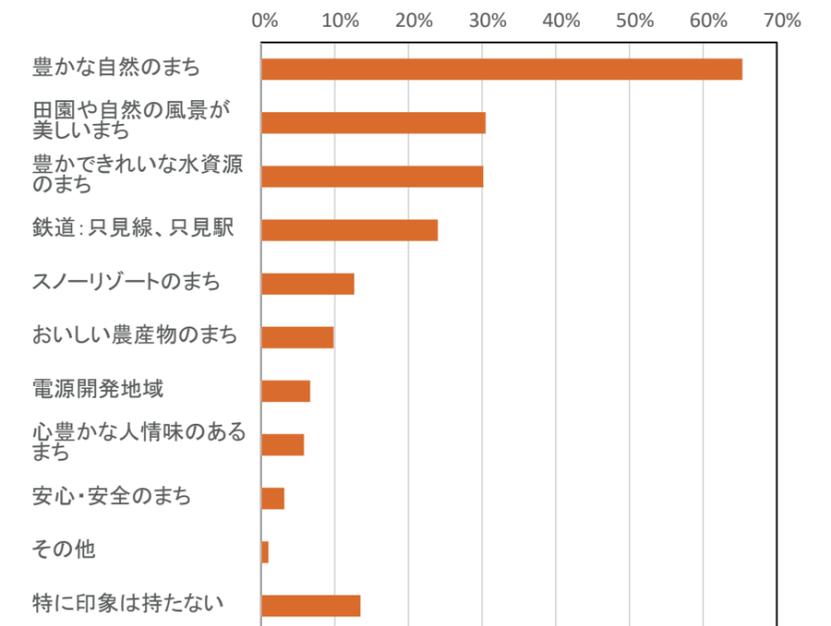
福島県南会津郡只見町のことを知っていますか？



- ・只見町を知っている人は約75%。来訪したことがある人は約30%。

4) 只見町と聞いてどのような印象を持ちますか。(Q13)

只見町と聞いてどのような印象を持ちますか。



- ・豊かな自然の町というイメージが圧倒的に高く約65%、次いで風景の美しさや水資源など「自然」に関連するイメージが続く。次点として只見線のイメージが挙げられている。

3. アンケート調査結果

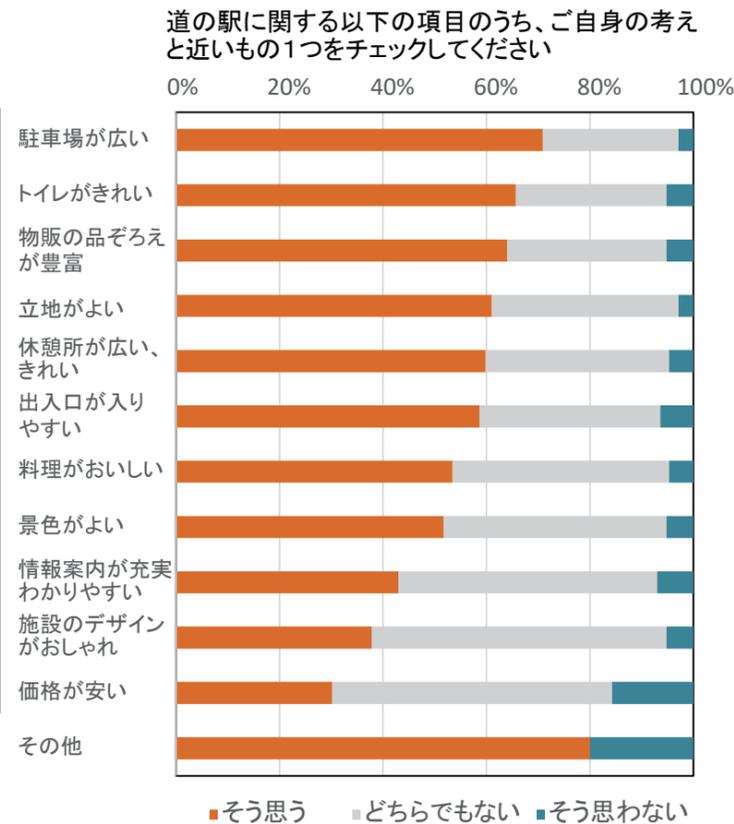
5) 旅行の目的地として行ったことのある道の駅をお答えください。また、その道の駅について以下の各項目のうちご自身の考えと近いもの1つをチェックしてください。(Q6-3)

6) 近くに訪れた際に必ず立ち寄る道の駅をお答えください。また、その道の駅について以下の項目のうち、ご自身の考えと近いもの1つをチェックしてください。(Q7-3)

目的地にしている道の駅

道の駅名	回答数	%
あらい	8	8.1%
どまんなかたぬま	7	7.1%
もてぎ	6	6.1%
猪苗代	6	6.1%
あいづ湯川・会津坂下	5	5.1%
米沢	5	5.1%
川場田園プラザ	4	4.0%
安達	3	3.0%
国見	3	3.0%
思川	3	3.0%
豊栄	3	3.0%
裏磐梯	3	3.0%
その他	43	43.4%

※その他: 回答数1、2の道の駅の回答数計



・目的地化している道の駅の上位5位は「あらい」「どまんなかたぬま」「もてぎ」「猪苗代」「あいづ湯川・会津坂下」「米沢」となっている。

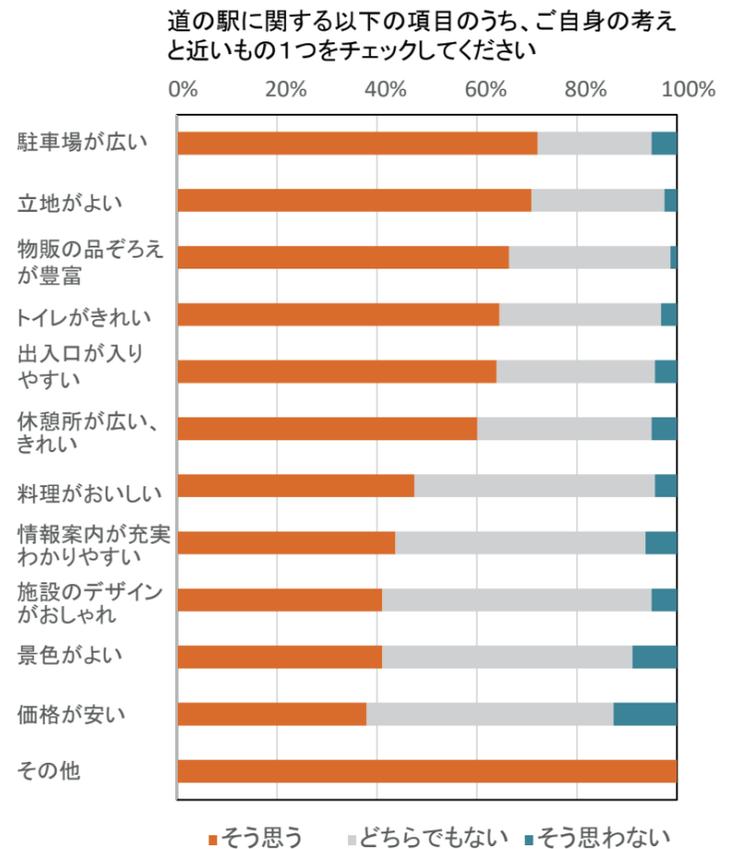
・目的地化している道の駅の特徴として、「駐車場が広い」、「トイレがきれい」、「物販の品ぞろえが豊富」、「立地がよい」、「休憩所が広くてきれい」、「入口が入りやすい」といった評価が高い。

必ず立ち寄る道の駅

道の駅名	回答数	%
しもつけ	8	5.7%
どまんなかたぬま	8	5.7%
安達	7	5.0%
猪苗代	7	5.0%
あらい	7	5.0%
ひらた	5	3.5%
新潟ふるさと村	5	3.5%
那須高原友愛の森	5	3.5%
米沢	5	3.5%
あいづ湯川・会津坂下	5	3.5%
にしあいづ	4	2.8%
国見	4	2.8%
きつれがわ	3	2.1%
もてぎ	3	2.1%
よつくら港	3	2.1%
思川	3	2.1%
豊栄	3	2.1%
その他	56	39.7%

※その他: 回答数1、2の道の駅の回答数計

・近くに訪れた際に必ず立ち寄る道の駅の上位5位は「しもつけ」「どまんなかたぬま」「安達」「猪苗代」「あらい」となっている。



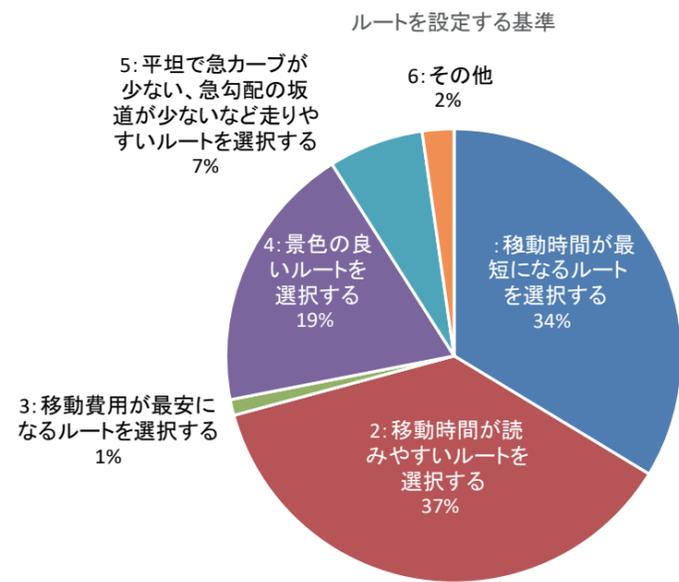
・必ず立ち寄る道の駅の特徴として、「駐車場が広い」、「立地がよい」、「物販の品ぞろえが豊富」、「トイレがきれい」、「出入口が入りやすい」、「休憩所が広くてきれい」といった評価が高い。

3. アンケート調査結果

(2) 観光業者向けアンケート

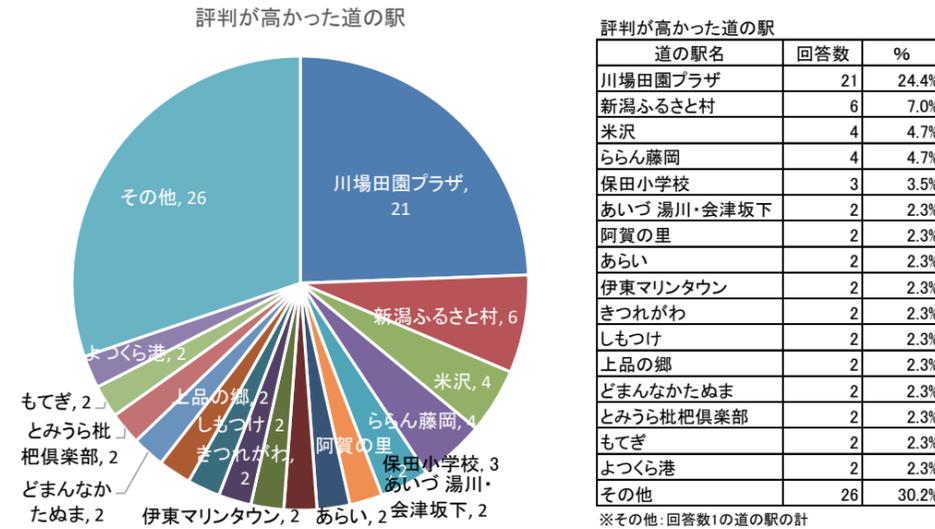
- 対象者 : 福島県、新潟県、栃木県において1種～3種の旅行業登録を行っている旅行者
- 配布数 : 418件
- 回収数 : 91件 (20.07.17時点)
- 回収率 : 21.8%

1) 旅行のルートを決める基準として何を優先しますか？(Q5)



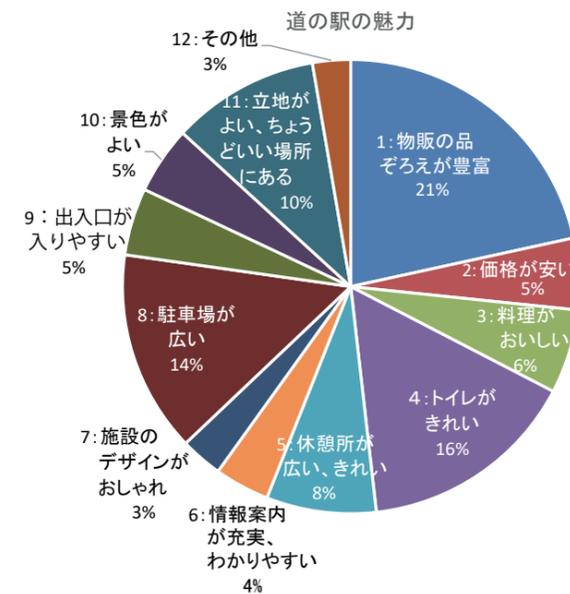
・観光バスのルート選定は、「移動時間が読みやすいルート」が最も多く、ついで「移動時間が最短になるルート」「景色の良いルート」の順となる。

2) これまでツアーなどで立ち寄った道の駅で、観光客の評判が高かった、魅力的だった施設はございますか。ございましたら、その施設名をお書きください。(Q8)



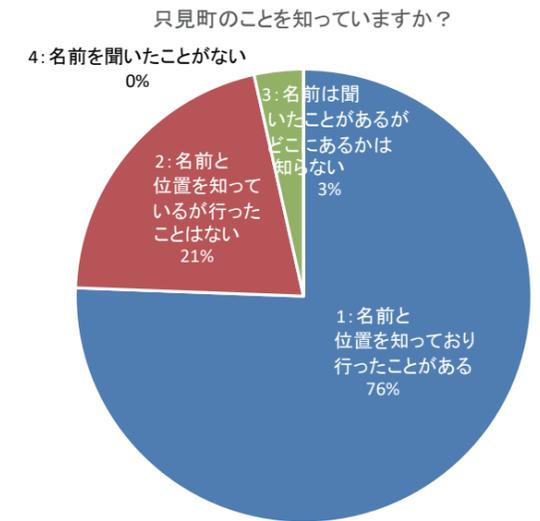
・観光客に評判のよい道の駅の上位は「川端田園プラザ」「新潟ふるさと村」「米沢」「らん藤岡」であった。

3) Q8で答えた道の駅はどのようなところが魅力的だと思いますか？当てはまるもの全てに○をつけてください。(Q9)



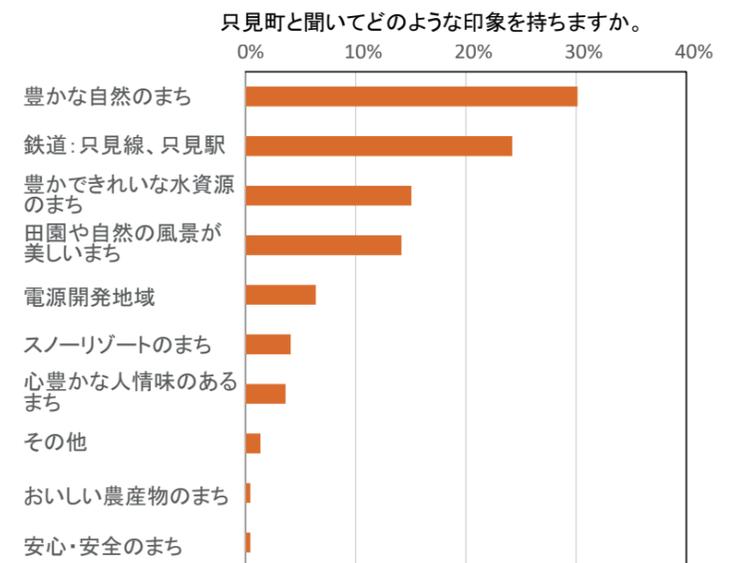
・Q8で回答した道の駅の魅力として、「物販の品ぞろえが豊富」「駐車場が広い」「トイレがきれい」「立地がよい」が上位に挙げられている。

4) 只見町のことを知っていますか？(Q10)



・観光業者の約75%は、只見町を訪れたことがある。

5) 只見町と聞いてどのような印象を持ちますか。以下の中から近いもの3つまでに○をつけてください。(Q12)



・只見町のイメージは、「豊かな自然のまち」「只見線」「豊かできれいな水資源のまち」が上位を占める。

